

## 子宮頸がんに対する A 群：腔内照射と B 群：組織内照射併用腔内照射の遡及的比較研究（国際多施設共同遡及的観察研究）

### 1. 研究の対象

本研究は、2000 年 1 月から 2016 年 12 月までに子宮頸がんに対して根治的放射線治療を施行された患者さんを対象としています。治療開始前の MRI で腫瘍のサイズを測定し、腫瘍の長径が 4 cm 以上あった方で、小線源治療の際に CT あるいは MRI で線量計算を行った患者さんを対象とします。

### 2. 研究目的・方法

研究実施期間：

データ収集・解析期間：研究許可日から 2020 年 12 月 27 日まで。

研究実施期間：研究許可日から 2021 年 12 月 27 日まで。

研究目的：子宮頸がんの根治的放射線治療には外照射に引き続いて行う小線源治療が重要なウエイトを占めます。従来は子宮と腔に線源を留置するのみの腔内照射を用いて治療されてきましたが、大きな腫瘍や不整形な腫瘍を対象に従来の腔内照射では十分に線量が届かない場合に組織内針を追加で刺入することで線量分布を改善することを目的に組織内照射併用腔内照射が行われるようになりました。しかし、これまで腔内照射と組織内照射併用腔内照射の直接比較臨床試験はなく、どちらの方法が優れているのかは不明です。今回、組織内照射併用腔内照射を初めて 2 年以上経過した医療機関を対象にこれまで治療してきた患者さんのデータを収集し、どちらの方法がより優れているのかを調べることを目的とします。

研究方法：2000 年から 2016 年の間に子宮頸がんに対し根治的放射線治療を行った患者さんのうち、治療開始前の MRI で腫瘍サイズが 4 cm 以上あった方を対象に、腔内照射と組織内照射併用腔内照射のどちらで治療したか、再発、死亡、合併症などはあったかどうかを診療録の情報を調べることで解析します。患者さんの個人情報特定されないよう、個人名、生年月日、カルテ番号は収集せず、匿名化された情報を扱います。

### 3. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、治療歴、治療内容、再発の状況、副作用等の発生状況 等

### 4. 外部への情報の提供

匿名化されたデータのみ、当院から国立がん研究センター中央病院に提供されます。他の研究組織からも、匿名化されたデータのみ、国立がん研究センター中央病院に提供されます。

## 5. 研究組織

共同研究機関名・研究者名：

国立がん研究センター中央病院：伊丹純、村上直也  
(研究代表施設、データセンター)

国立研究開発法人放射線医学総合研究所病院 (QST 病院)：小此木範之

東北大学病院放射線治療科：神宮啓一、梅澤玲

山形大学医学部附属病院放射線治療科：根本建二、市川真由美

新潟県立がんセンター新潟病院：金本彩恵

自治医科大学付属病院放射線科：若月優

群馬大学医学部附属病院放射線科：中野隆史、大野達也、村田和俊

群馬県立がんセンター放射線科：江原威、安藤謙

筑波大学附属病院放射線腫瘍科：室伏景子、櫻井英幸

埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科：加藤真吾

東京医科歯科大学医学部附属病院放射線治療科：吉村亮一

がん研有明病院放射線治療部：吉岡靖生、小口正彦

千葉大学医学部附属病院放射線科：宇野隆、渡辺未歩

大阪医科大学附属病院放射線治療科：吉田謙

大阪大学医学部附属病院放射線治療科：小川和彦、磯橋文明

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター：古妻理之

神戸大学医学部附属病院放射線腫瘍科：吉田賢史、佐々木良平

京都府立医科大学附属病院放射線科：増井浩二

兵庫県立がんセンター：辻野佳世子、関井修平

川崎医科大学付属病院放射線科（治療）：平塚純一

香川県立中央病院放射線治療科：吉尾浩太郎

徳島大学病院放射線治療科：生島仁史

高知大学医学部附属病院放射線治療部：刈谷真爾

福山医療センター放射線治療科：兼安祐子

九州大学病院放射線科：大賀才路、平田秀紀

九州がんセンター放射線治療科：國武直信

琉球大学医学部付属病院放射線科：有賀拓郎

北京大学第三病院：Jiang Ping、Junjie Wang

台北榮民総合医院：Liu Yu-Ming

中国医薬大学、台湾：Liang Ji-An

Medicine Ramathibodi Hospital：Pattaranutaporn

ソウル大学：Kang、Kim

国立がんセンター、韓国：Joo-Young Kim

シンガポール国立大学：Tang

東京臨海病院放射線科：廣渡寿子  
東京都立墨東病院診療放射線科：張大鎮  
トヨタ記念病院放射線科：奥田隆二  
順天堂大学医学部附属浦安病院放射線科：斎藤アンネ優子

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の  
方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2019年8月31日までに下記の  
連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## 7. 研究代表者および連絡（問合せ）先

### 【主たる研究機関】

国立がん研究センター中央病院（放射線治療科）

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 TEL：03-3542-2511 FAX：03-3547-5291

### 【研究代表者】

伊丹 純

### 【研究事務局】

村上直也

### 【当院における研究責任者】

千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST 病院

小此木 範之（おこのぎ のりゆき）

電話：043-206-3306（平日 9:00～17:00）